

北野天満神社 北野町3丁目

●「北野町（きたのちょう）」の由来



北野天満神社

異人館街の中、風見鶏の館の東隣にある鳥居をくぐり 60 段の石段を登ると北野天満神社の境内にでる。祭神は菅原道真で、旧北野村の氏神。この神社は、平清盛が神戸の福原に遷都したとき（1180<治承4>年）、京都の北野天満宮を勧請（かんじょう）して社殿を造営し、僧信海を別当においたと言われている。現在の本殿と拝殿は 1742（寛保2）年

の建立である。なお、このあたり一帯を北野村（後の北野町）と呼んだのは、この北野天満神社があったからだと言う。



拝殿

場所：中央区北野町 3-12-1